

デーリー東北
2020年(令和2年)1月25日(土曜日)(15)

種市高生が連携授業の成果を報告した発表会



種市高と八工大、連携授業

津波防災教育の成果発表

岩手県立種市高と八戸工業大は20日、同大で連携授業の成果発表会を行った。同校海洋開発科の3年生7人が、学生らと協力して学んだ津波防災教育の成果を発表した。

発表会は2019年に続いて2回目。同校と同大は16年3月に、海洋に関する教育と研究の推進、人材育成などを目的とした連携協定を締結し、以来、同大工学部土木建築工学科の佐々木幹夫

教授が中心となって授業を展開している。昨年は10、11月に同大で4回行った。生徒はこの日、同大が所有する津波発生装置を使った実験や、津波浸水のシミュレーションのプログラミングに取り組んだ成果を紹介した。

同大に進学を希望している木村太^ださん(18)は「高校の設備だけではできない体験ができた。将来は海洋生物の研究に携わりたい」と話した。(船渡拓)